

笑顔・感謝

～落ち着いた雰囲気の中に活気のある学校をめざして～
3つの『あ』『あいさつ』『あきらめない』『ありがとう』…をベースに

前期後半がスタートしました!!

40日間の夏休みが終わり、8月27日(木)から前期後半が始まりました。久しぶりに子どもたちの顔が揃い、静かだった学校にもまた賑やかさが戻ってきています。

やはり、学校は子どもたちが主役です。子どもたちの登校により、一気に活気がみなぎってきました。



朝の全校集会(オンライン集会)では、4月の始業式と同様、横島小学校の共通目標として、3つの「あ」『あいさつ』『あきらめない』『ありがとう』を掲げ、「あいさつ」を通して『考えて行動する力』を、「あきらめない」を通して『やり抜く力』を、「ありがとう」を通して『協調する力』を身につけていこうと話しました。そして『姿勢』『身だしなみ』『笑顔』も意識しながら、みんなで力を合わせて、仲良く・楽しく・元気に過ごしていきましょう』と呼びかけました。



まずは、前期終了(10月9日)までの7週間で、7月までに積み上げてきたことの定着と、さらなる上積みを図っていきたいと思います。引き続き、各ご家庭でのご協力をよろしくお願いします。

被災された方々に 心からお見舞い申し上げます

7月28日(火)午後4時27分、大きな揺れが熊本県内を襲いました。私は、一人で校長室にいたのですが、サッシ窓の「ミシミシミシッ」という音とともに、室内の揺れが始まり、長時間にわたって(だいぶ長く感じました)、身体がゆらゆらとなるぐらいに揺れ続けました。揺れが収まったところで職員室に移動し、「10年前の本震ほどではなかったと思うけど、震度4とか5ぐらいあるかもしれんね」と話をしていたところ、最大震度7とスマホに速報が届き、驚きなが

らも、すぐさま、職員みんなで校舎内外を見て回りましたが、理科室廊下の水槽の水がこぼれていたぐらいで、大きな被害等はありませんでした。

その後、玉名地域は震度5弱ということが分かり、幸い、玉名地域での大きな被害はなかったということですが、震源地に近い県南～県央地域では、テレビ等での報道のとおり、甚大な被害が出ている状況です。親戚や知り合いが被災したという方もたくさんおられるのではないかと思います。豪雨災害をはじめ、この夏も、日本各地で自然災害が多発していますが、これ以上、被害が大きくならないことを祈るばかりです。

私自身「熊本では大きな地震は起こらないはず」と小さい頃から勝手に思い込んでいましたが、10年前の地震でそれが覆され、熊本地震後も「10年前のようなあんな大きな地震は熊本ではもう起こらないだろう」と、これまた勝手に思い込んでいたのが覆されてしまいました。いつ、どこで、どんな大きな災害が起こるか分からない時代になっているのかなと思います。だからこそ、何もないごく普通の日常に感謝をしながら、一日一日を大事に過ごしていきたいなと改めて思う今日この頃です。

校長室から

そんな中、夏の高校野球・熊本県代表：有明高校の甲子園球場での戦いには、ほんとうに感動させられました。

1回戦・2回戦・3回戦と、数少ないチャンスをものにしての逆転勝ち。準々決勝でも、最後まで粘り強く戦い、紙一重の差で敗れはしたものの、全国の強豪校を相手に、堂々とした戦いぶりを見せてくれました。投手力・鉄壁の守り・走塁、そして何といってもチームワークの良さが光っていたなどと思います。選手一人一人のひたむきで一生懸命な姿や爽やかな姿が、熊本県民にはもちろん、全国の人たちにも元気と勇気を与えてくれたように思います。



有明高校のみなさん、たくさんの感動をありがとうございました!!

※ 8月23日(日)のPTA愛校作業には、早朝からの活動にも関わらず、多数ご参加いただきありがとうございました。当日来られないからと、事前に来られた方もたくさんいらっしゃいました。ありがたい限りです。皆様のご協力に感謝です。